

宮城県感染症発生動向調査情報(第3週)

宮城県【平成25年01月24日】発行  
宮城県保健環境センター  
TEL (022)257-7228

- 2013.1.14 ~ 1.20 ・ 第3週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保 健 所									宮 城 県 (含む仙台市)				
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	仙台市	患者数	累計	第52週	第1週	第2週	第3週
水痘	15 3.00	15 1.50	20 4.00	5 2.50	2 0.67	13 2.60	6 3.00	28 1.08	104 1.79	255	レ→	→	○→	◎
流行性耳下腺炎	7 1.40	2 0.20	2 0.40		2 0.67	13 2.60	4 2.00	9 0.35	39 0.67	96	レ→	→	○→	○
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	34 6.80	51 5.10	30 6.00	31 15.50	30 10.00	80 16.00	7 3.50	131 5.04	394 6.79	903	レ→	→	○→	◎
手足口病	1 0.20		2 0.40		5 1.67	3 0.60	2 1.00	2 0.08	15 0.26	34	レ→	→	→	
伝染性紅斑	4 0.80								4 0.07	10	→	→	→	
突発性発しん	1 0.20	7 0.70	5 1.00		3 1.00	4 0.80	2 1.00	11 0.42	33 0.57	74	レ→	→	○→	○
ヘルパンギーナ	1 0.20	3 0.30	2 0.40						6 0.10	7	→	→	→	
インフルエンザ	229 28.63	231 15.40	199 24.88	42 14.00	57 11.40	183 22.88	111 27.75	697 16.60	1749 18.81	2,577	レ→	→	○→	◎
咽頭結膜熱	2 0.40	2 0.20			1 0.33	1 0.20		4 0.15	10 0.17	20	→	→	→	
流行性角結膜炎			1 1.00					4 0.67	5 0.42	5	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8 1.60	9 0.90	2 0.40	1 0.50		12 2.40		40 1.54	72 1.24	165	レ→	→	○→	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	1 1.00								1 0.08	1	→	→	→	
無菌性髄膜炎	1 1.00								1 0.08	1	→	→	→	
マイコプラズマ肺炎	2 2.00	1 1.00	9 9.00	2 2.00		2 2.00	7 7.00	1 0.20	24 2.00	53	レ→	→	○→	レ
クラミジア肺炎(オウム病は除く)			2 2.00						2 0.17	4	→	→	→	
RSウイルス感染症	6 1.20	3 0.30			2 0.67			19 0.73	30 0.52	44	レ→	→	→	○
拡大疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	1	3	3	1	2	1	7			：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ：発生または流行について、今後の情報に留意 ：発生が少なくなっている傾向			
	川崎病										【週報の詳細】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 <a href="http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/">http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/</a>			
	不明発疹症													

今週の全数報告疾病

\*男児、女児は6歳未満

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核  
大崎管内 男性1名  
仙台管内 女性1名、女児\*1名
- 3類感染症: 報告なし
- 4類感染症: レジオネラ症  
仙台管内 男性1名
- 5類感染症: アメーバ赤痢  
仙台管内 男性1名

今週のインフルエンザによる入院患者報告 25例  
(仙台市を含む基幹定点報告)

今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

【インフルエンザ】

石巻、気仙沼管内で注意報継続中。  
仙南、塩釜、大崎、栗原、登米、仙台管内で注意報値を超えた。  
今週になって県全域で注意報値を超え、中には警報値(1定点医療機関当たり30人)に達する勢いの管内もある。また宮城県保健環境センター微生物部や仙台医療センターウイルスセンターでA香港型インフルエンザウイルスの検出が相次いでいるので、ここ2、3週間は特に注意が必要である。

インフルエンザに関する解説や予防法については、厚生労働省の下記「インフルエンザ問一答」などを参考に  
[http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekakukansenshou01/dl/leaflet20110208\\_01.pdf](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekakukansenshou01/dl/leaflet20110208_01.pdf)

【感染性胃腸炎】

石巻管内で警報継続中。  
患者数は減少傾向にあるが、依然としてノロウイルスが原因の集団発生があるので、今しばらく注意が必要である。  
ノロウイルスに関する注意事項をまとめたリーフレットは下記厚生労働省のホームページへ  
<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/03.html#ink01-01>

【水痘】

大崎管内で注意報値を超えた。

【流行性耳下腺炎】

石巻管内で警報継続中。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

インフルエンザ患者より  
仙南管内 第3週採取分インフルエンザウイルスA(H3)遺伝子3件  
大崎管内 第3週採取分インフルエンザウイルスA(H3)遺伝子2件  
登米管内 第3週採取分インフルエンザウイルスA(H3)遺伝子2件  
感染性胃腸炎集団発生事例より  
栗原管内 第2週採取分 ノロウイルス(GⅡ) 1件  
宮城県:51定点  
石巻管内 第2週採取分 ノロウイルス(GⅡ) 5件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第1週採取分 (12.31～1.6)	第2週採取分 (1.7～1.13)	第3週採取分 (1.14～1.20)
インフルエンザウイルスA(H3)	0件	5件	0件
インフルエンザウイルス解析中	1件	8件	4件
RSウイルス	1件	3件	3件
アデノウイルス	0件	1件	0件

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢別割合)

報告週	年齢群											総数 (人)
	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)	80歳～ (%)	
2012年 第50週	17.2	25.9	19.0	8.6	5.2	6.9	8.6	3.4	3.4	0.0	1.7	58
第51週	23.3	26.2	10.7	7.8	8.7	7.8	8.7	1.0	2.9	1.9	1.0	105
第52週	25.0	23.5	9.1	9.1	9.1	12.9	4.5	3.0	3.0	0.0	0.8	132
2013年 第1週	26.2	19.2	11.0	6.4	10.5	6.4	5.8	9.9	1.2	0.6	2.9	172
第2週	23.3	21.0	8.6	5.4	9.5	9.5	8.9	5.9	4.1	1.9	1.7	828
第3週	21.9	24.0	14.1	6.8	9.5	8.5	6.0	4.4	2.7	1.2	0.9	1,749

インフルエンザ定点  
インフルエンザ定点は、内科定点と小児科定点を合わせたもので、県全体で93定点です。  
宮城県:51定点  
仙台市:42定点  
合計:93定点

定点把握の対象となる5類感染症(全国 2012年第52週) (国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第43週以降増加が続いている。都道府県別では群馬県(15.05)、栃木県(10.72)、佐賀県(10.26)、埼玉県(8.08)、沖縄県(7.79)が多い。RSウイルス感染症: 報告数は3,805例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約74%を占めている。咽頭結膜熱: 報告数は減少した。佐賀県(1.05)、山形県(1.03)、北海道(0.91)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 報告数は減少した。富山県(3.79)、石川県(3.79)、福井県(3.00)が多い。感染性胃腸炎: 定点当たり報告数は3週連続で減少した。香川県(21.00)、鳥取県(19.74)、高知県(17.37)が多い。水痘: 報告数は減少した。鹿児島県(3.96)、福井県(3.86)、宮崎県(3.86)が多い。手足口病: 報告数は3週連続で減少した。茨城県(1.21)、石川県(1.21)、福岡県(1.08)が多い。伝染性紅斑: 報告数は増加した。岩手県(0.25)、愛媛県(0.22)、新潟県(0.17)、高知県(0.17)が多い。百日咳: 報告数は減少した。新潟県(0.07)、千葉県(0.06)が多い。ヘルパンギーナ: 報告数は減少した。千葉県(0.27)、大分県(0.14)、鹿児島県(0.13)が多い。流行性耳下腺炎: 報告数は減少した。山形県(1.40)、岩手県(1.35)、福井県(1.23)が多い。マイコプラズマ肺炎: 報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。福島県(3.71)、青森県(3.00)、宮城県(2.58)が多い。